

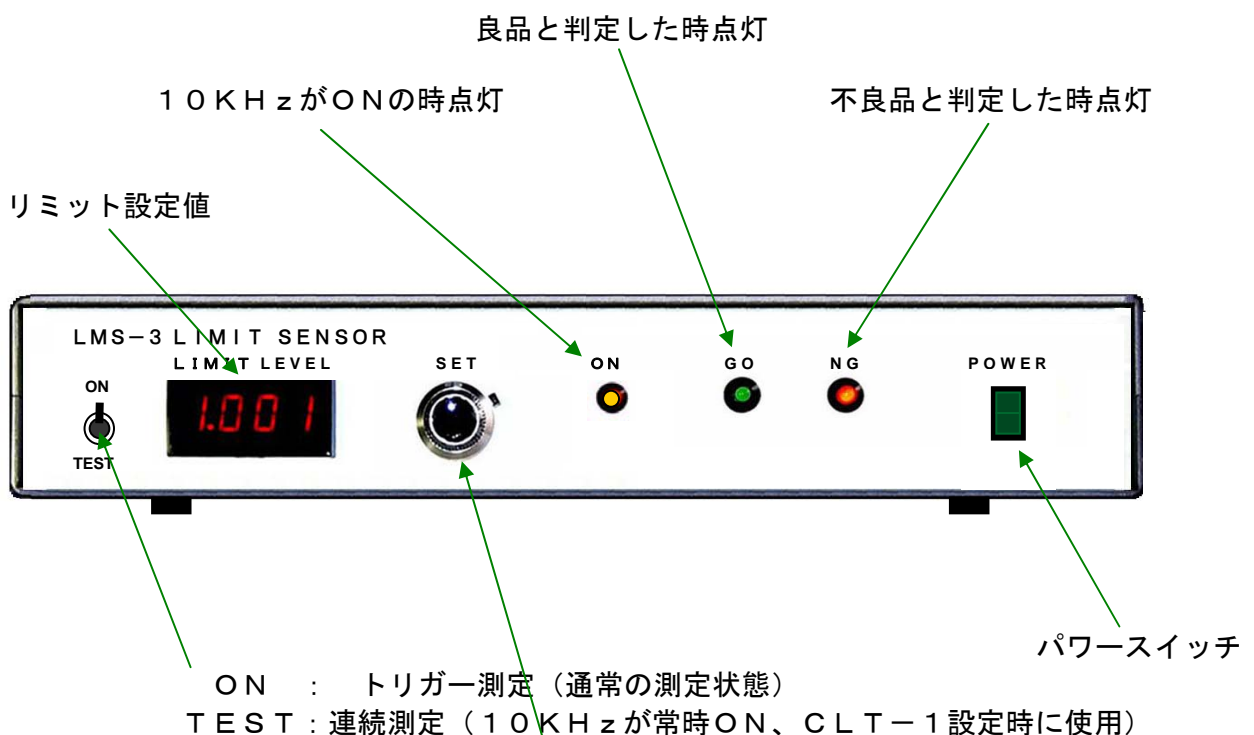
***** LMS-3 リミットセンサー*****

LMS-3リミットセンサーは、CLT-1部品直線性試験装置を抵抗器生産ライン上で使用するために、CLT-1で測定した第3高調波のリミットを設定し、リミット値を超えた場合に不良品選別のための信号を出力するインターフェースです。

測定タイミング信号が入力されると、内部で設定された時間（10mS～60mS）内にCLT-1の10KHz電圧を測定部品に印加し、測定結果をGO/NG信号で出力します。

入出力信号は各種オプションに対応できます。

フロントパネル

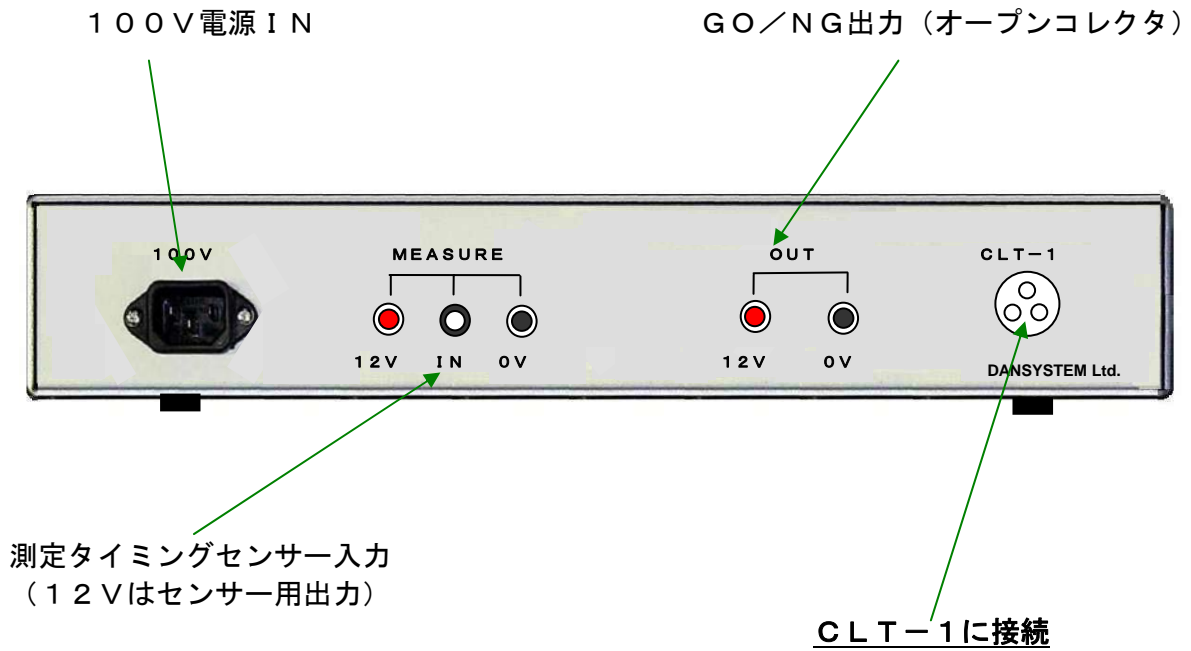


リミット設定：30KHz計がフルスケール時に1000（測定レンジには無関係）
（例．30KHz計のふれの50%以上を不良とする場合、500と設定。）

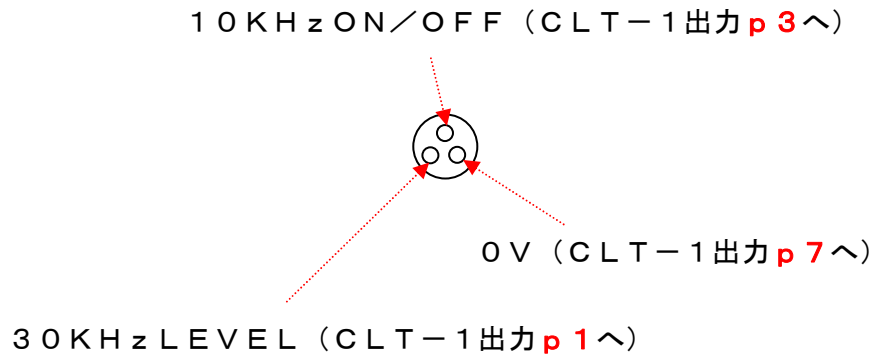
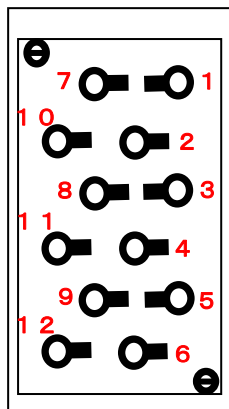
使用方法

1. まずCLT-1とLMS-2間のケーブルを接続します。
2. 測定タイミングセンサーを接続し、CLT-1とLMS-2の電源をONにします。
3. LMS-2のリミットを設定します。
4. LMS-2の10KHz表示ランプ下のスイッチをTESTにし、CLT-1の10KHzを印加します。スイッチをTESTからONにすると、CLT-1の10KHzがOFFになります。（測定タイミング入力が入った時のみ、10KHzが設定された時間だけONになります。）
5. 測定タイミング信号がはいるたびに、GO/NGを判定し、出力します。
出力は次の測定まで保持されます。

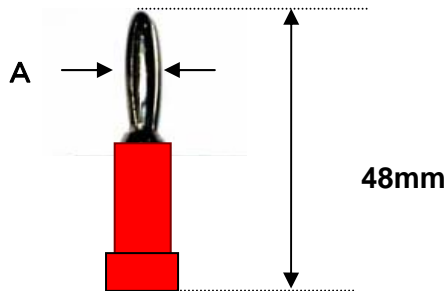
バックパネル



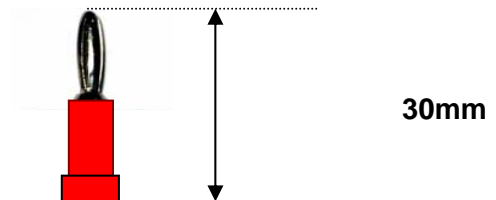
CLT-1 出力コネクタ



CLT-1 出力コネクタはすでに生産中止で入手できません。
下記プラグなどで代用します。



通常のタイプ (Aを少しつぶして使用)



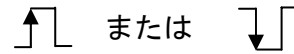
小さいタイプ (最適です。)

内部基板上で設定可能

* 測定時間 : 6 mS - 50 mS

標準は約 20 mS に設定

* 測定タイミングスタート : 立ち下りまたは立ち上がり



- ・ 12 V パルスまたはトランジスタによるスイッチング
- ・ 内部で 10 K Ω 抵抗により 12 V にプルアップしてあります。

標準は立ち上がりに設定

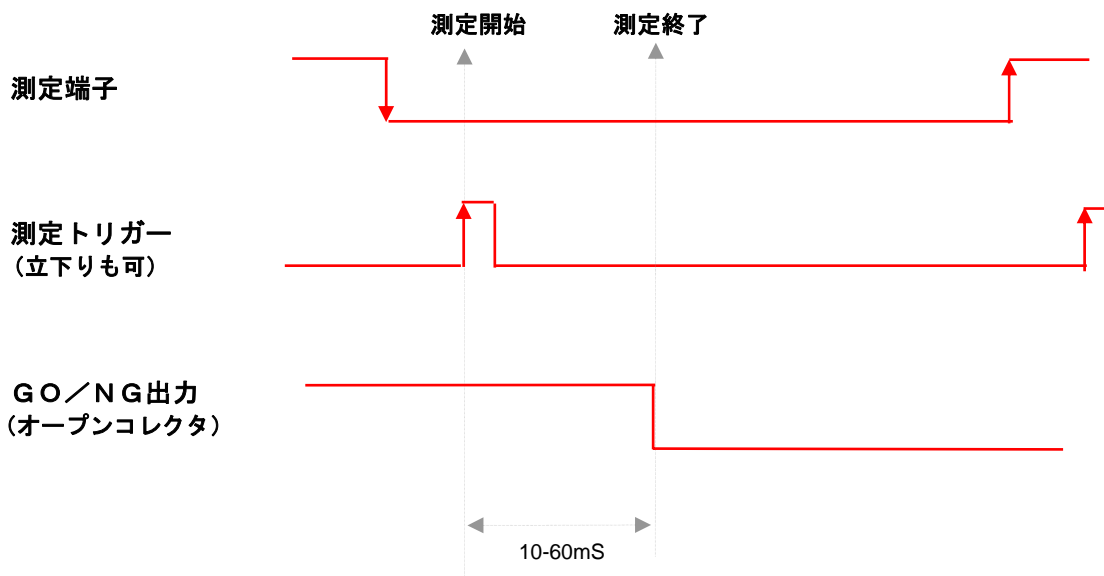
* 出力 :

- ・ NG で ON または NG で OFF (オープンコレクタ)
- ・ 出力を次回測定 (次回測定タイミング入力による測定) まで保持または、コンパレータは測定タイミング入力に関係なく連続動作、連続出力
- ・ 7 個までのシフト回路内蔵 (NG 出力を 0 - 7 まで DIP スイッチで設定)
- ・ 出力電源の標準は 12 V / 1 A

標準は NG で ON, 出力を次回測定まで保持,

* その他 : オプションで出力電源、内蔵可

測定タイミング

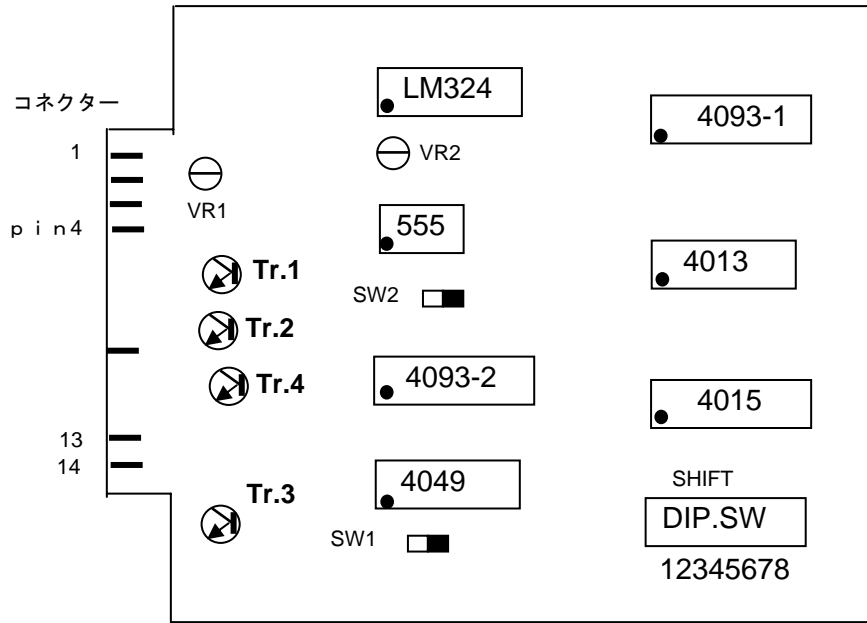


測定トリガーは測定パルスの立ち下りにも内部で設定できます。

測定時間 (測定開始から測定終了まで) は約 20 mS にセットしてありますが、内部で 10 mS - 60 mS の間で設定可能です。

GO/NG 出力は、出力が前回の測定結果と同じ場合はその結果を保持します。

内部基板



内部設定

- VR1 : pin 4が1.000Vになるよう調整
- VR2 : 測定時間調整 (10-60mS)
(反時計方向いっぱいが10mS.)
- SW1 : NGで出力がON
 NGで出力がOFF
- SW2 : 立ち上がりで測定スタート
 立下りで測定スタート
- DIPスイッチ : 1がシフトゼロ
8がシフト7

内部基板コネクター

- | | |
|----|--------------------|
| 1 | 12V |
| 2 | 30KHz入力 |
| 3 | 0-1V入力 |
| 4 | 1VOUT |
| 5 | 10KHz ON/OFF出力 |
| 6 | ON/TEST |
| 7 | 10KHz ON表示LED |
| 8 | 測定スタートIN |
| 9 | リミットGO-OUT (オプション) |
| 10 | NG表示LED |
| 11 | GO表示LED |
| 12 | OUT表示LED (オプション) |
| 13 | リミット出力 |
| 14 | 0V |

LMS - 3 回路図

